

横浜市立中村小学校

令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成をめざす資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
ともに生きる社会をつくる子どもを育てます	<自分づくりに関する力> <言語能力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを推進します。 ・児童理解に努め、安心できる居場所づくりと子どもの自己有用感を大切にします。 ・人と人とのつながりを基盤とした学校づくりに努めます。 ・家庭・地域・関係機関との連携を深め、開かれた学校づくりに努めます。 ・全教職員が主体的に学校経営に参画していくようにします。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> ①言語環境を整え、自分の考えをもち、生き生きと表現する子、互いの意見を聞き合う子の育成をめざす。 ②チャレンジタイム（毎週金）での基礎基本の定着とブックタイム（毎週火・木）での情報活用能力の育成をめざす。
担当	重点研究推進委員会・課題検討委員会
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ①支援を要する子や外国につながる子について「引継ぎメモ」等を活用して全教職員で共有しチームで、生活面、学習面の両面から支援にあたる。 ②ITや国際教室、学習支援等全教職員で子ども一人ひとりの支援にあたる。
担当	児童指導部・国際教室担当

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

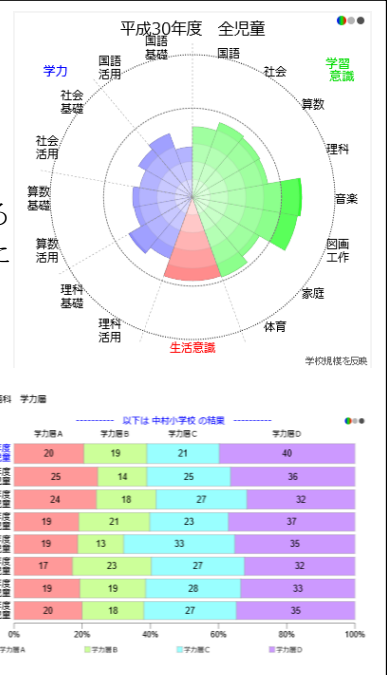
全体的に、横浜市の平均を下回っているが、ここ数年で少しずつ基礎も活用も向上しつつある。学年や年度によって差はあるものの、国語活用や理科基礎、算数基礎は他の項目に比べると向上が見られる。国語は活用に関する問題の正答率が高いが、基礎に関する問題の正答率が低い。子ども達の伝え合いや、言語活動の充実など学校として取り組んできた成果が出ている一方で、基礎に関する内容に関しては、国語で身につける力の系統を意識した授業づくりを継続していくことが必要であるといえる。

(2) 学力層を経年変化で捉えた分析

学力層C・Dが半数以上を占めており、TTや国際教室、学習支援教室等の学習支援を丁寧に行ったり、聴覚情報のみに偏らず視覚情報や具体物を意図的に授業展開に入れたりしながら、一人ひとりの着実な力となるようにしていく必要がある。

(3) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

学力層によらず、学習への意識が前年度に比べると下回っている。子どもの興味関心を引き出し、理解を深めていく授業展開を工夫していく必要がある。



3 令和元年度 学年・教科等として育成をめざす具体的な資質・能力と具体的取組

	育成をめざす 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	◆社会生活の中での協調性	○地域、特別支援学校、幼稚園、保育園等との交流を通して人とつながる場면을計画的に位置づける。 ○学習に向かう基本的な姿勢を意識し、相手の話をよく聞くことができるように指導する。	
2年	◆相手の思いを受け止めて聞く力	○地域、特別支援学校との交流や学級全体での取組を計画的に位置づけ、協同して活動することを価値づけていく。 ○学習に向かう基本的な姿勢を意識し、相手の話に興味をもって聞き、自分の感想をもてるよう指導する。	
3年	◆自分らしさを発揮しようとする姿勢	○地域の活動にかかわる場を計画的に位置づけ、子どもたちが主体的に学びに向かうことができるようにする。 ○互いの考えの共通点や相違点に着目していくよう指導する。	
4年	◆互いの考えの違いへの気付き	○体験学習等、学年全体での活動を計画的に位置づけ、子どもたち自身が合意形成を図ることができるようにする。 ○互いの考えの共通点や相違点に着目し、考えをまとめることができるように指導する。	
5年	◆学校生活へ参画する姿勢	○JA 羽黒の方々との交流や学年、学校全体での取組を計画的に位置づけ、学校生活へ参画できるようにする。 ○互いの立場や意図をはっきりさせながら見通しをもって伝え合うことができるように指導する。	
6年	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○学校全体での取組やたてわり班の活動を計画的に位置づけ、学校のリーダーとして学校生活へ参画することができるようにする。 ○互いの立場や意図をはっきりさせながら見通しをもって伝え合い、考えを広げたりまとめたりできるように指導する。	
個別支援級	◆基本的な生活習慣をつくる態度 ◆身近な語彙の豊かさ	○特別支援学校との交流や学級での活動等人とつながる場면을計画的に位置づける。 ○学習に向かう基本的な姿勢を意識し、相手の話をよく聞けるように指導する。	